

分譲戸建

## 2×6と高性能サッシで “快眠”を付加価値に



めの良さを提供するため、朝日の採光にこだわった間取りや開口部の設計をはじめ、入浴や夜間のトイレといった睡眠環境の形成に着目。ランダムな水流で刺激を与えまんべんなく体を暖める浴槽の付いたバスルームや照明、床暖房、遮光カーテンといった住設機器、光触媒によって空気を浄化する床などの建材、エアウィーブ社の高反発マットレスや枕、パジャマなどを標準化した(一部は有料オプション)。

ツーバイフォーやツーバイシックスを用いた住宅は、オープン工法ならではの厳しい基準が設定されていることから、高価格帯・普及価格帯の双方で基本性能を訴求しやすい点が特徴だ。

プラスチックの中央住宅が「睡眠ウェルネス」をコンセプトに昨年から展開している付加価値型の戸建分譲住宅は、ツーバイシックス工法を採用している。同プランは、温度差の少ない室内環境が快

質の良い睡眠と朝の目覚ましを促す。同プランでは、温度差の少ない室内環境が快適な睡眠を実現。寝室の理想の室温といわれる16℃～25℃、特に冬場も室温16度を下回らない室内環境を訴求した。初弾物件の引き渡し後に実施した成約者アンケートでは、温度差の少ない室内環境が快適な睡眠を実現。寝室の理想の室温といわれる16℃～25℃、特に冬場も室温16度を下回らない室内環境を訴求した。初弾物件の引き渡し後に実施した成約者アンケートでは、温度差の少ない室内環境が快

初弾は埼玉県草加市の「マインドスクエア草加・西町II」(全3棟)の1棟に導入。他2棟を約1000万円上回る価格ながら、発売直後に指名買いで成約した